



笠間市立笠間小学校
 学校だより「時習館」
 令和7年9月1日（月）
 第11号

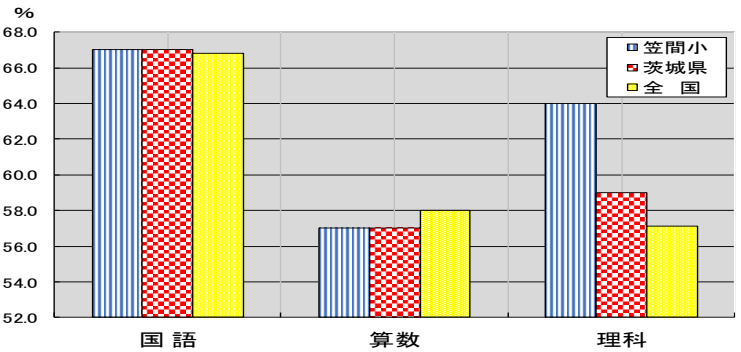
令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

～ 本校の結果を報告いたします ～

新聞等では既に、今年度の全国学力・学習状況調査結果（対象：全国の小6及び中3）について報道されておりますが、本校6年生の結果について、校内での分析が終了いたしましたので、結果についてご報告いたします。

1 笠間小・茨城県・全国平均正答率と県・国との比較について

令和7年度調査	国語	算数	理科
笠間小	67.0	57.0	64.0
茨城県	67.0	57.0	59.0
全国	66.8	58.0	57.1
県との比較	0.0	0.0	5.0
国との比較	0.2	▲1.0	6.9



※ 国語、算数ともに県・全国と大きな差（5ポイント以上）はなく、県並み・全国並みの結果となりました。理科については、県及び全国よりも5ポイント以上の差があり、県や全国平均よりも学力が高い状況であることが分かりました。

2 教科ごとの特徴と課題について

（※各QRコードから、文部科学省に掲載されている今年度の調査問題を確認することができます。）

○国語

- ・成果（強み）⇒ 設問2二、3で正答率が高く、図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すことや日本の言語文化に対する理解は高い。
- ・課題（弱み）⇒ 設問2四、設問3二三で正答率が低く、児童は単なる知識の暗記だけでなく、複数の情報を統合して読み解く力や、論理的に思考し、自分の考えを表現する力に課題が見られた。



○算数

- ・成果（強み）⇒ 設問1（1）、（3）で正答率が高く、グラフや表から、必要な情報を選び計算するなど、データの活用能力は高い。
- ・課題（弱み）⇒ 設問2（4）、設問3（2）（3）で正答率が低く、児童は単なる計算技能だけでなく、「なぜそうなるのか」という概念的な理解や「自分の考えを論理的に説明する力」に課題がある。



○理科

- ・成果（強み）⇒ 設問1（3）、3（1）で正答率が高く、植物の体のつくりについて知識や実験方法から結果を予想する思考力が高い。
- ・課題（弱み）⇒ 設問2（1）（2）、3（4）で正答率が低く、児童は知識の断片的な理解に留まり、それを活用して問題を見出し解決することや、実験と知識の結びつきの弱さ、論理的に思考したりする力に課題がある。



※ 今年度の結果から、各教科で課題となったところを全学年での学習指導に生かし、児童の学力向上を推進してまいります。特に「知識を活用する力」や「論理的に思考し、判断・表現できる力」の育成に取り組んでまいります。本校では「子どもが主語の学校づくり」を組織目標に掲げております。「子どもが自ら考える授業」「子どもが自分たちで課題解決する授業」を目指し授業改善に取り組んでいきます。